

## 選考委員賞

### 森林を守るためには

赤坂中学校 新井 波美夏

私たちは生きています。生きているから呼吸をする。それは、動物、もちろん植物も同じである。

今、世界各地で森林が半減している、という現状がある。人間の身勝手な開発や乱獲が主な原因とされている。

森林を守るために、今、何をすれば良いのか。私は、現在、家庭で、少しでも貢献できるように、やっていることがある。他にはどのようなことをすれば木を守ることができるのか。

紙は植物性繊維を原料としてできている。ということとは、紙は木からできている。紙を無駄に使うほど木を伐採しなくてはならない。紙を再利用することにより、今よりは改善されると思う。まず、裏が白紙のものはメモなどに使うことである。捨てて、新たに使うのではなく、裏紙を使うことにより、無駄なゴミが減少される。また、両面印刷のものは、リサイクルに出す。そうすることで、再び紙として利用することができる。この循環作業を繰り返すことで、無駄を省くことができる。最近では、学校にリサイクルボックスを設置したり、子供用の玩具でチラシを折り

紙やかわいいメモにリメイクできたり・・・と、紙を大切にすることを意識が高まっている。

他に、案として、学校や公共の場所に木を植える、学校が授業の一環として、児童に植林を体験させるなどがある。これらをすれば、小さい頃から触れ合えるので、木を身近に感じられる。身近に感じることで、伐採されている現状を知れば、大切にしよう、守らなければ、という、心が芽生える。また、植林の体験後に、木についての授業をすれば、知識が増え、対策を考えたり、対策を実行できたりと、より一層意識が深まる。

これまでに述べてきたことは、実行不可能なことではない。大きなことを一気にするのも良いが、身近なことからコツコツとすることが大切なのである。また、できなかったとしても、協力しようという意思が大事なのだ。

今年の三月に起こった、東北大地震。そのとき、日本国民や海外の人々が協力したおかげで、復興できたのである。小さな子から大人まで、少しでも力になりたいと募金やボランティアをしたからできたことなのだ。

今、森林が減っている。そのことを世界に広め、保護する活動をしていくことで、減少を抑えることができる、と私は思う。これからどう広めて意識を変えさせるかが、一番の課題だと思う。